

# 傳設計ニュースレター

## CONTENTS

- ◆今、伝えたいこと  
～設計事務所の受注②～
- ◆競泳プール設計の面白さ
- ◆いざ！  
グループ3社での初仕事
- ◆世界遺産に携わる
- ◆建物に合わせた  
柱脚の選定  
～鹿島技研様の提案～
- ◆社員名鑑
- ◆会社情報



## 今、伝えたいこと ～設計事務所の受注②～

皆さま、こんにちは。前回、設計事務所の受注方法について、若手社員を講師にしたセミナー開催のお話をさせていただきました。今回はそのセミナーでつながったお客様との関係についてお話したいと思います。

弊社の社員がセミナーを開催するようになり、最初は、どう行動していいのかわからず、目も当てられなかった(笑)のですが、回を重ねるに連れ、テーマの見つけ方、お客様への対応の仕方など、社員が成長する姿を傍で感じました。民間案件受注のつもりが結果的に人材育成につながり、いい取り組みだったと考えるようになったのは、前回お話たとおりです。弊社としては、これだけでも大きな収穫だといえたのですが、せっかく、接点を持つことができたお客様との関係をどう維持していくかが課題でした。といいますのも、設計事務所は、奥ゆかしい人が多く、営業が大の苦手。私なんかその王道を行っているようなもの。そもそも建物は高価なものですから、そう簡単に建てよう！とはならず、「いずれお願いしたい」などと言っているうちに、なんとなく関係がフェードアウトしていってしまうのです。それを追いかけるのはなんだか気が引けて仕方がないのです。そこで、私たちのような奥ゆかしい人(笑)でも、できる営業として、いつか建物を建てる時に、お声かけいただける関係になればいいのではないかと発想を転換しました。セミナー開催時、知り合った時のタイミングでは無理でも、いつか。そのためには私たちの会社の考え方を知っていただき、信頼を得ることが大事だと考え、情報発信をすることにしました。それが、社員によるブログだったり、このニュースレターだったりするのです。このブログやニュースレターを通して、会社のことを少しずつお伝えし続けることで、関係をフェードアウトさせることなく、いつか何か建物のことで相談したい時に、思い出していただける存在になりたいと思っています。こうして始めた情報発信が、採用にも繋がっているのは思わぬ収穫でした。

最近の設計事務所の若い経営者は活発な方が多いですね。能動的に動く姿を拝見すると、「まだまだ負けられないな、もっと他の取り組みはないものか」と考えてしまいます。(代表取締役 岩本茂美)



★創立記念式典にて★

## 岩本 茂美 (いわもと しげみ)

株式会社傳設計 代表取締役

《最近のこと》

毎年9月に弊社社屋にてお客様をお招きして懇親会を行います。今年は、育休中の社員が子どもさんを連れてきてくれて、可愛さに目尻が下がrippなし！出産を経て子育てをしながらも会社に戻ってきてくれる社員が増え、ありがたいです！



★思わず笑顔に★

## ★競泳プール設計の面白さ★

現在、弊社では競泳プールの設計に取り組んでおります。競泳の中でも、オリンピック強化選手仕様のプールの設計です。

競泳のプールは、選手達の勝敗を対等かつ公平に決めなければならぬため、多くの規定があります。レーンの幅や数、タッチ板までの長さはもちろんのこと、スタート台の傾斜角度は10度以内、コースラインの色は暗色にする等の細かい決まりがあります。

今回はオリンピック強化選手仕様の国際標準のプールなので、オリンピックになるべく近い形にするために、メーカーによって若干違うスタート台の形や、プールの素材を選ぶ等、全ての選手が横一列で完全に本番に挑めるように工夫して慎重に設計を進めています。

中でも私が関心を持った競技ならではの設計の考え方が2点ありま

す。1点は「残響時間」の考え方です。残響とは音の元となる音源の振動が止まった後も、音が響くことによってその音が聞こえる現象を指して、「残響時間」とは音源の振動が止まった瞬間から、その音圧が減衰するまでの時間を指します。

残響時間が長いとその分、音がすっきりと聞こえずに話の内容が分からなかったりします。内部の仕上げを工夫することで、残響時間が短く抑えられ、スタートの合図が選手に届くまでのタイミングによる誤差を

減らすことに繋がります。

2点目は天井の見え方です。例えば天井をトラス天井(仕上げをせず)に骨組みを見せた天井にする場合、背泳ぎをする選手の気が散らないように、プールのレーンと平行に骨組みを組む等の工夫が大事になってきます。

これから詳細図の作成になっていくのでまだまだ検討事項が出てくると思いますが、新しいことを吸収して行くのを楽しみながら業務に励もうと思います。(古賀)



★トラス屋根のプール(イメージ)★

# 傳設計 設計業務

傳設計のグループ会社である小野設計の藤田です。今年7月より、同じグループ会社として加わりました田中建築設計室の繋がりで、福岡県某町にあります既存大型商業施設の跡建物を利用し、新たな商業店舗を出店するための改修工事計画のお話を頂きました。この記事を作成している8月末の時点では設計・監理の契約前ではありますが、今後正式に契約頂けた暁には、傳設計を筆頭にグループ2社が一体となり行う初

めの仕事になります。

さて、計画の内容を詳細にお伝えしたいところですが、前述の通り契約前という状況もあり、特定する表現が出来ないことをご了承ください。



今回ここに出店を検討される企業は、関東を中心に北は北海道、南は関西エリアまで多くの店舗を展開されており、まだ手つかずだった中国・四国・九州エリアを開発していく上での旗艦店として考えているようですので、設計で携わる私たちは施主様より納得頂ける関係を築き上げ

るよう従事する所存です。…とは申したものの、今回は新築ではなく改修です。改修工事ならではの隠れたところを開けてみたいと分からないという予測の立たないトラブルが付きものです。一から線を引く設計とは違い、既存構造体や設備の状況がいかに正確につかむか、制限ある中でどう施主の要望や時代性にあった技術提案が出来るか、また、それら全てが法を遵守しているかが重要になります。そのためにも、これから本格的に進んでいく上で、傳設計グループとしての組織の強みと、多くのネットワークを生かし各分野に精通した方々の技術協力も借りて、来春には晴れてOPENの日を迎えることを楽しみに、取り組んで行きたいと思えます。(小野設計/藤田)



★傳設計グループ会社★

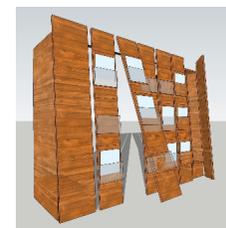
## ★いざ！グループ3社での初仕事★

## ★世界遺産に携わる★

この度弊社では、『「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群』として世界文化遺産へ登録されたことで話題の大島にて設計業務を行いました。

内容としては、世界遺産登録に伴う大島のターミナルの内部改修業務でした。改修は待合所をメインに行い、家具の設計が主な内容でした。家具の設計は初めての経験で、ペテランの上司や、株式会社アダル様と何度も打合せを重ね、苦戦しながら設計に取り組みました。特にコスト面で苦戦しました。素材の検討や部

材の数を抑えれば、もちろんコストは減るのですが、その中で、機能を保ち、デザインも良くなければなりません。(世界遺産のメインゲートになることもあり、先方からもクールジャパンなデザインを希望されていました)



★リーフレット置き★  
収納は両端に分け、  
中のボードは取り外し可能です。

例えば、リーフレット置きは、始めは、よく図書館などでバックナンバーの雑誌が置いてある、フラップ

式の扉で収納しつつ見せるタイプの家具で検討していたのですが、コストを考えて部材を抑え、収納部分も最小限に抑え、パイプにディスプレイボードを引っ掛ける形に仕上がりました。

何とか最後は全体的にシンプルかつクールなデザインの家具を作ることができました。

今回の業務を通して、よりリアルにものづくりの本質を実感しました。デザイン・機能・コストこの3つを常に意識してこれからも業務に取り組んでいきます。(古賀)



★最終案のメインバス★

# NEW&HOT TOPIX

今回は、鉄骨造の構造設計にてお世話になっている鹿島技研様に柱脚の認定工法である「ISベース柱脚工法」について、教えていただきました。

“柱脚とは鉄骨造の建物において建物を支える基礎と柱を繋ぐ際に必要なのです。建物が完成したときには地面の中に埋まってしまい、人の目に触れることはないのですが、まさに「縁の下の力持ち」的な存在で、建物の安全性を検討する構造設計において、柱脚の選定次第で柱や梁の大きさ、さらには建物の意匠(デザイン)までにも影響を及ぼすこともあります。

そのような難しい柱脚の選定の中で「ISベース柱脚工法」というものがあります。この工法の特徴は安全性を重視した「保耐力接合タイプ」と

設計自由度と経済性を重視した「柱脚ヒンジタイプ」の2つのタイプを取り揃えており、324通りの柱脚の仕様の中から建物に最も適した柱脚が選べるというところ。この工法を採用することにより、安全性と経済



★アンカーセット状況★

性のバランスが取れた構造設計を行うことができ、設計の自由度がある為、「工場」「保育園」「商業複合施設」等様々な用途の鉄骨造の建

物に採用することができます。



★モルタル充填状況★

施工の面で柱脚工事は写真のように「アンカーセット」と「モルタル充填」の2工程あるのですが、柱脚工事の免許を持った専属の職人による施工で、施工精度が非常に高く、安心・安全を提供できます。”

現在も工場の案件を進めております。私たち設計者もその製品のことをより理解して、より良い建物を設計するよう努めてまいります。(中里)

## ★建物に合わせた柱脚の選定～鹿島技研様の提案～★

## ★創立記念式典を行いました★

8月1日に創立27周年の記念式典が行われ、会社全体、そして部署ごとに前期の反省や目標、今後の会社の方針などが発表されました。この発表を通して改めて、自分達が一年間どのように業務に取り組んだのか振り返り、反省点や良かった点、課題などを見つける事ができたのではないかと思います。私は入社して半年の為、初めて出席しましたが、この半年間「少しは成長したな」と思える部分がある一方「まだまだ未熟だ…」と感じる部分も多い為、これから一年の仕事への取り組み方を考える良いきっかけになりました。また、この一年間、様々な実績をあげた社員が表彰されたのですが、表彰された社員は、嬉しそうな表情で、周囲の人への感謝の言葉を述べていたのが印象的でした。「感謝の気持ちを忘れずに仕事に取り組む」。当然の事ですが、忘れがちな事でもあると思うので、感謝の気持ちを大事にしようと心に決めた一日でした。(服部)



★式典の様子★



★社長より社員表彰★

## 社員名鑑 vol.24



氏名:緒方伸子  
社歴:3年2ヶ月  
所属:設計1部  
主な業務:意匠設計  
趣味:ソーイング

小さな頃からソーイングが好きで、いつもちょこちょこ何か作っていました。今は時間がなくてあまりできないのですが、いつか仕事から離れたら、そのとききっと居るはずの孫のために、あれこれ作ってあげるのがささやかな夢です。

いまは某公営住宅の設計をしています。過去に民間の集合住宅には何度か関わったことがありましたが、民間のものとは考え方がだいぶ違って戸惑うことも多く、また初めての開発許可申請にも四苦八苦しています。これがいい経験となって後に生きてくるよう、また全ての業務に共通することですが、気持ちよく業務完了となるように頑張りたいと思います。

## ★インターンシップ実施中★

今年も弊社ではインターンシップを実施しております。数年前より学業専念のために、就職活動期間の短縮が図られましたが、そのぶん、企業側も学生側もインターンシップに重点を置くようになってきています。あるデータによると、昨年は全体の約6割の学生さんがインターンシップに参加しているとのこと。1人の学生さんが数社まわることも、今や少なくないようです。



★インターン生のプレゼン★



★中学生も来ていただきました★

さて、そんなインターンシップ事情ですので、弊社にも大学の夏休みの期間中は途切れなく、意匠・構造ともに学生さんに来ていただいております。正直、通常の業務もありますので、設計社員にはかなり頑張ってもらっているのですが、それでも、同じ設計を志す学生さんたちのお役に少しでも立てれば…と考えています。就職活動が始まる直前の2月まで随時受け付けております。学校の授業も考慮いたしますので、設計事務所での仕事にご興味のある方は、ぜひご連絡ください！(澤田)

- ◆ 編集後記///最近、社内数名でゴルフを始めました！皆まったくの初心者。
- ◆ 私は最初クラブを左右どちらに振り上げるのかもわからなかったほど。/週に一度の練習では、前回覚えたことも半分以上忘れてしまい、まさに三歩進んでは二歩下がる調子です。/「春にはコースに出る」という目標は、果たして叶うのでしょうか.../アンケートを同封いたします。ニュースレターへのご意見、ご感想をFAXでぜひお送りください。/澤田



「想い・安全・未来をカタチに」

株式会社 傳設計

DEN ARCH. & ENG. OFFICE

<本社>

ADD:福岡市東区香椎駅前2-1-15

TEL:092-672-8538 FAX:092-672-8559

<サテライトオフィス>

ADD:福岡市東区香椎駅前2-12-41 302

TEL:092-692-4555 FAX:092-672-8559

